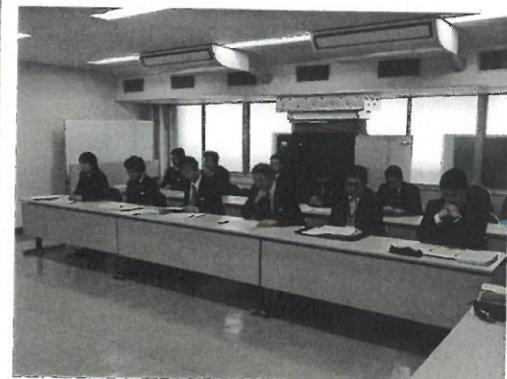


香川県教職員連盟

予算交渉

質の高い教育を確立するため、予算の流用を強く要望！

香教連は、11月9日（水）14：00から県庁北館4階の402会議室において、香川県教育委員会との予算交渉を行った。香教連から矢代委員長以下4名が出席。県教委側は、西原教育長、矢木澤義務教育課長ほか12名が対応した。主な要望と回答は、以下の通り。**太字**は要望項目、香教連の主張はゴシック、県教委の回答は明朝斜体字で表記している。



【香川県教職員連盟 参加者】

- 今年度より配置された校務支援員の成果と課題を検証し、学校の実情に合わせて増配置を推進すること。

【安本事務局長】 今年度より、校務の支援を主に行う「校務支援員」が県内に6名配置された。学校の多忙感解消に向け、配慮いただいていることに対し、大変感謝申し上げる。

今年度からの配置ということもあり、校務支援員の成果と課題を検証することが大切だと考えている。そして、業務改善、教職員の負担感軽減に向かって、積極的に市町教育委員会に働きかけていたい。現在配置されている学校での校務支援員の業務としては、給食業務や集金業務、アンケートの集計等、学校や地域の実態に合わせたものとなっており配置校からは大変助かっているという声が聞かれていることから、校務支援員のさらなる増員をお願いしたい。

香教連としては校務支援員の任用について、学校の実情をよく知った退職教員が望ましいと考える。多忙化している学校において、退職された熟練教員が校務支援員として現場をサポートしていただけることは大変心強い。退職した教員を再任用し、校務を幅広く支援してもらうことで、現場の教員が子どもと向き合う時間を確保することができると言える。教材研究や個々に応じた指導が十分にできるよう、校務支援員の柔軟な配置や増員について検討していただきたい。

【矢木澤義務教育課長】

来年度についても、配置校は決定していないが、努力していきたいと考えている。今年度からの運用なので、来年度を含め2年間の成果と課題を検証していく。その中で、業務内容がマニュアル化できれば、他の学校でもそのノウハウを活かしていくと考えている。

任用については、県教委としても学校の実情をよく知った方が望ましいと考えている。校務支援員については市町が人材を見つけることとなっているので、市町に働きかけていきたい。



- 小学校での英語の教科化に向け、子供たちに質の高い英語教育を受けさせるために、各校への英語担当教員の配置を検討すること。

【原田副委員長】 次期学習指導要領の改定に伴い、2020年の英語の教科化の実施が決まり、現場からは授業増や評価、中学校への系統性等、教科化の実施を不安視する声が根強い。現在の小学校の教員の多くは英語の免許はもちろん研修を受けた経験を持っていないという現状もあり、負担を感じている教員も多い。

文科省は国の研修を受けた「英語教育推進リーダー」を増やし、リーダーから研修を受けた「中核教員」を全小学校に配置する計画である。学級担任が中心となって英語を指導できるように、県においても教育センター等において研修が計画的に進められている。

教科化に向けて研修も進んでいるが、香教連会員のアンケートの中には、英語担当教員の必要性についての記述が多くなっている。英語の教科化、2020年の実施に向け、今後早急に各学校現場での研修・体制づくりも必要不可欠と考える。子供たちに質の高い英語教育を受けさせるためにも、専科教員の配置も含め、英語担当教員の全校配置を早急にお願いしたい。

【右上に続く】

【左下より続く】

【矢木澤義務教育課長】

小学校段階における専科教育の有効性を認識している。英語の力を持った人が専科となるのが理想だが、多くの人が退職される中、小学校に指導に行ける人が少ないのが現状である。

県としては少なくとも推進リーダーを各学校に配置して、意識が高まるようにしていかたい。

来年度以降、各学校の先行実施に向けた指導体制に向け、市町教委に意識的に働きかけていく。また、先進校の視察等を通して環境整備をしていかたい。



- 熟練教員の指導技術の継承のため、指導教諭を県内全ての小中学校に任用し、若年教員への指導のみならず校内指導体制の充実を図ること。



【山田講師部長】 平成23年度小学校で10名で任用された指導教諭も平成25年度から中学校に、さらに平成28年度は小学校35校、中学校27校と、大幅に増員配置されてきたことに感謝申し上げる。香教連は長年、指導教諭の多数配置を要望してきた。これまで、「中学校への配置を含め、指導教諭の配置拡充について積極的に検討し、教員の指導力の向上に努める」という回答を頂いている。

近年、若年教員の指導技術の向上が喫緊の課題となっている。教員の世代交代の中、指導教諭を中心に、若年教員に優れた指導技術を伝授し、若年教員の指導技術を向上させなければならぬ。若年教員の指導技術の向上が図られることで、児童生徒へもよい影響が与えられ、学力向上にもつながると考える。また、指導教諭の役割は、教員に対して教育指導の改善及び充実のための必要な指導・助言を行うことである。個々の教員の授業力等が向上することで、各学校において優れた教育実践が図られることがある。指導教諭が配置されることで、若年教員以外の先生方にも活気が出たり、若年教員に積極的に声かけする姿が見られるようになるなど、校内のファシリテーターとしての役割を担い、相乗効果が見られる学校もあると聞く。

そういう面からも今後、全ての学校に指導教諭が配置されることで、指導体制の充実が図られ、学校が活性化する等、学校全体により影響が生まれると考えている。指導教諭を全ての小中学校に任用・配置していただきたい。

【矢木澤義務教育課長】

指導教諭の配置については、若年の先生にとっても、学校全体にとっても有効だと考えている。

香教連からの要望も継続して挙がっており、今年度も増配置を実施している。予算的なこともあるので急激には増やせないが、学校全体の教育力向上のため、今後も増配置を努力していただきたいと考えている。



【2面に続く】

○ 児童生徒の心身の悩みに、きめ細やかに対応するため、養護教諭の複数配置について、学校の実態や規模に応じて適切な教職員配置を進めること。

【矢代委員長】香教連はこれまで、学校経営の充実のため、養護教諭の複数配置について継続して要望してきた。「義務標準法に則って県の配置基準を定めて配置している。」と回答を頂いているが、現在、県単独の予算で、義務標準法以上への養護教諭の複数配置を行っていることに対して、感謝申上上げる。本年度の教員採用選考試験の学校の養護教諭の採用数も、111名と昨年度に比べ増加した。このことは養護教諭の複数配置を理解している。

現場からは、児童生徒の心身の悩みに対応するためにも重要な養護教諭が出席や修学旅行や宿泊学習といった学校行事等で不在の時にも対応できるように複数配置を望む声は年々大きくなっています。香教連は養護教諭の複数配置が、学校経営の充実を図る上で効果的な措置であると考え、学校の実態や規模に応じて複数配置することを改めて要望する。

【矢木澤義務教育課長】

香教連の要望も受け、養護教諭の複数配置が進んでいる。

子供たちの居場所としてだけでなく、初期対応を巡る保護者とのトラブルや業務改善の面からも保健室が常に機能している状態が望ましいと考えている。引き続き、養護教諭の複数配置を考えていく。

○ 配慮の必要な児童生徒に、個に応じた指導が行える通級指導教室の充実が図られるよう、通級指導教室の増設および中学校への拡充を図ること。

【安本事務局長】現在、通級指導教室は全ての市町、県内22校に設置されている。また本年度より、高松第一小学校（高松市北部ブロック）と多度津小学校（多度津町）にて、拠点校方式による通級指導教室が試験的に実施されている。発達障害とみられる配慮の必要な児童生徒の数は年々増加している傾向にあり、配慮していくだしていることに感謝する。

ただ、中学校においては通級指導教室が実施されないため、各校で空き時間の教職員が対応したり、個に応じた指導が十分に行われていないといつた声も現場から聞こえてくる。拠点校方式に対する二

により、中学校への対応を考えていることに感謝するが、現場の二つの多さに対応していることと思われる。中学校では教科の関係で実施が難しいといふが、担当教員に臨時免許を発行し、通級指導に対応している県もあり、香川での実施も可能ではないかと考えている。

通級指導教室の増設および中学校への拡充を図ることで、支援の必要な児童生徒への合理的な配慮やインクルーシブ教育の推進につながると考える。さらなる充実を市町教育委員会へ働きかけていただきたい。

【松木特別支援教育課長】

通級指導教室においては平成26年度から、全ての市町に設置しており、県内22校の各学校に担当教員を配置しているという現状である。

通級指導教室の設置については、国からの教員の加配状況や通級指導教室の現状を考慮していく。中学校の実施については今年度からの拠点校方式の実施モデル校の検証を踏まえ、対応していく。

一人一人の教育的ニーズに応じた通級による指導をより効果的に行えるよう、市町において拠点校方式の導入を働きかけていきたい。また、昨年度の検討委員会の報告書に基づいて指導内容の充実を図り、通級による指導の充実に努めていきたい。

○ 「障害者差別解消法」の施行にあたり、児童生徒が生活しやすく、適切な指導や配慮が行えるよう、各学校の施設・設備の充実を図ること。

【山田講師部長】今年度4月より「障害者差別解消法」が施行となり、発達障害を抱える児童生徒への合理的配慮が必要となりました。まだ始まつたばかりということもあり、子供たちの戸惑いや学級担任への負担も大きいと思われる。また学校によっては、校内に車いすで利用できる洋式トイレやスロープ等の設置ができていない学校も存在し、現場から子供たちのために早急にバリアフリーハイ化を団体の中でも生かされる。支援を必要とする児童生徒が団体の中でも生かされるには、施設・設備整備することで、児童生徒が課題を少しでも解消し、インクルーシブ教育の推進につながると考える。支援員を増やすことも含め、特別支援教育へのさらなる充実を市町教育委員会へ働きかけていただきたい。

【小川総務課長】

障害者差別解消法の趣旨に則って、施設・設備の整備をすることは重要だと認識している。整備について市町が中心となって行うことなので、県として様々な情報を伝えたり、助言したりしていきたいと考えている。

洋式トイレの設置については市町によってばらつきがある。学校自体と合わせて整備していく。(香川県の洋便器率は全国平均を2.2%下回る41.1% 四国新聞11.11) 市町も必要性は理解している。国の補助金等の紹介もしていきたい。

【右上に続く】

毎月10日発行】 【平成4年7月24日第三種郵便物認可】
【左下より続く】

○ 教職員の負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間を確保するため、ICT活用による業務の簡素化を図るとともに、県下で統一したシステムにおいて業務が行えるよう、市町教育委員会に働きかけること。

【原田副委員長】H25より高松市、H26からは丸亀市、今年度からは綾歌においてもクラウドが実用化され、先生方が重要なデータを持ち運ぶことなく、家庭において業務をこなすことが可能になつた。他都市においても、業務改善に向けて、配慮していただいていることに感謝申し上げる。たまたまクラウド化されていない市町もあり、出人人事異動の際には教員の戸惑いが多く聞かれる。また電子化を図ることで、教員が子供たちと時間が多くなり、個に応じた指導を実現することができる。セキュリティ面や道德の教科化に伴い、指導要録にについても県下で統一してある。各市町にもシステムの紹介をしているが、なかなか市町の足並みがそろっていないのが現状である。情報を挙げながら、今後も働きかけていく。

【矢木澤義務教育課長】

人事異動や業務改善の面から考えても、統一したシステムについては大切なことだと考えている。

各市町にもシステムの紹介をしているが、なかなか市町の足並みがそろっていないのが現状である。情報を挙げながら、今後も働きかけていく。

【西原教育長のお話】

中学校における通級指導については、小・中連携の中で、一緒に見ることが必要だと考えている。拠点校方式で兼務して指導できる先生の育成も課題である。

先生ができるだけ子供と関わる時間を持つてるように、できるだけ必要な人材を配置していくことを考えていく。県として、国全体の考え方や動向を見ながらいろいろな形で学校に人が増えるように、国に要望していく。香教連も、国へ今後も要望を続けてほしい。

☆ これからの香教連・教文研研修会情報 ☆ 養護教諭部研修会のお知らせ

平成28年度養護教諭部研修会を下記日程で開催する。

養護教諭の先生だけでなく、たくさんの方々の参加をお待ちしている。

- 1 日時 平成28年12月3日（土）
15:00～16:30（受付14:30）
- 2 場所 香川県教育会館2階 第1, 2会議室
- 3 講師 四国こどもとおとなの医療センター 小児整形外科医長 横井 広道 氏
- 4 演題 「運動器検診について」
- 5 申込 香川教連事務局

電話：087-835-2721 FAX：087-835-2723

*お申込み、お問い合わせは、香川教連事務局までお願いします。



小学校体育授業 教員サポートサッカー実技研修会のお知らせ

サッカー（ボール運動・ゲーム）の授業を楽しんで実践できるように、この度、JFA（日本サッカー協会）から指導員・インストラクターをお招きし、授業づくりについての研修会を企画した。体育専門の先生だけでなく、苦手な先生や女性の先生方、若年の先生方にも多数参加していただき、子供たちにサッカー（ボール運動・ゲーム）の楽しさを味わわせてほしいと思っています。

- 1 日時 平成28年12月3日（土）
13:30～16:00（受付13:00）
- 2 場所 Jフット丸亀 フットサルコート
- 3 講師 日本サッカー協会技術委員会 指導者養成・インストラクター 尾形 行亮 氏
- 4 申込 香川教文研事務局（担当：安本）



電話：087-837-8480 FAX：087-835-2723

*お申込み、お問い合わせは、香川教文研事務局までお願いします。

※ご意見・ご要望は、香教連事務局まで
TEL 087(835) 2721 FAX 087(835) 2723
E-mail info@kakyoren.com